

Home...away from home.

自然に抱かれた、あなたのもうひとつの住まい

Finland Village



ユーザーのためのガイド 2005

<http://www.finland.co.jp/village>

© (株)フィンランド・ヴィリッジ
C-G Bystedt February 2005

はじめに

フィンランド・ヴィリッジへようこそ。フィンランド・ヴィリッジはあなたやあなたの家族、同僚のためのユニークなレクリエーション施設です。私たちはこのプロジェクトを立案し、推進するに当たって、あなた自身が滞在されてバケーションを楽しみ、あなたがビジネスのための友人を歓待できる場所にするのに最善を尽くしました。

私たちはヴィリッジの株主として、ヴィリッジがあなた自身の資産であることをいつも念頭に置かれることを望んでいます。そのためあなたがこの施設を大切にし、あなたのゲストに対してもそうするように勧められることを願っています。ヴィリッジを良好な状態に保つことによるのみ、ヴィリッジを快適な場所にできるだけでなく、メンテナンス・コストを減らし、使用料金をきわめて妥当な水準に抑えることができます。

次のページでヴィリッジやその機能について詳しくご説明します。私たちはこれがあなたのフィンランド・ヴィリッジ滞在のガイドになることを願っています。説明の一部は複雑にみえるかもしれませんが、注意深くご覧になれば、すべてをよくご理解頂けるものと考えています。以下のルールはすべて株主の皆さま方が施設を公正に利用し、すべての株主が施設を定期的に利用できるようにするために決められたものです。

このガイドの内容について何かご意見がおありでしたら、いつでもこのガイドに記載した理事会の理事にご遠慮なくお知らせ下さい。またヴィリッジの機能や、もしヴィリッジに不都合な点がありましたら、それについてもご意見をお待ちしています。

どうぞご滞在をお楽しみください

フィンランド・ヴィリッジ理事会

1. フィンランド・ヴィリッジの概要

1. 1. 背景と歴史

フィンランド・ヴィリッジの発端は、1990年10月にオートクンプのピーター・グロンクビスト氏とヴァイサラのラウノ・シロラ氏が栃木にゴルフ旅行に行ったときに、社員のための適当なレクリエーション施設がないのに気付いたことにさかのぼります。フィンランド大使館商務部のクラス・ヨーラン・ビューステット氏がそのことを知り、ヨーロッパ最大のログハウスメーカーのホンカラケンネを代表するホンカ・ジャパンの幹部と日本でのログハウス事業の促進について話し合ったときに、レクリエーションと事業の促進を兼ねてフィンランド・ヴィリッジを設けるというアイデアが生まれました。

1991年春にこのアイデアが本格化し、秋に日本にあるフィンランド企業を対象にして調査が行われました。その結果、各社の関心が高いことが分かり、計画が立てられ、1992年3月に株式の発行が始められました。株式会社の形で、利用者の共同所有にすることが決まりました。1992年10月に(株)フィンランド・ヴィリッジが登記されたときには、資本金が4300万円になり、第一段階のプロジェクトを進めるのに十分な額になりました。

敷地探しが続けられたあとで、長野県小海町の松原湖畔にフィンランド・ヴィリッジを設けることが決まりました。松原湖畔は静かな自然に恵まれ、付近で数多くレクリエーション活動が行われていることから、きわめて適切な場所だと思われました。1992年10月には小海町との間で6000平方メートル以上の土地のリース協定が結ばれました。

1992年12月には「ホンギスト」と呼ばれる本館と「ムスティッカ」と呼ばれるログキャビンの2棟が発注されました。1993年5月にはログキャビンのキット、8月には本館のキットが届きました。同年12月にはヴィリッジ建設の第一段階を終える予定になっていましたが、10月末のはほぼ完成していたログキャビンが焼失して、プロジェクトの実現が大きく遅れました。(出火の原因については放火の疑いがもたれています)

理事会はこの不幸な出来事にもかかわらずプロジェクトの続行を決めましたが、これはひとえに小海町役場や町民の強い支援のおかげです。改良型ログキャビンの「ムスティッカSB」が発注され、1994年2月初めに納入が終わりました。本館の建設は順調に進み、1994年3月末には本館が竣工しました。同年4月には「ムスティッカSB」も完成し、プロジェクトの第一段階が完了しました。1994年6月にはフィンランド・ヴィリッジと小海町が建設したコンサートホールの落成式行われました。

第一段階が完了したとしても、プロジェクトはこれからです。第2、第3段階の予備的な計画を立てられ、さらに多くのログキャビンなどの施設が設けられてこそ、本当のヴィリッジが生まれるのです。今後の拡大の規模やスケジュールは、ヴィリッジの使用について少々経験を積んだ後で決められることになっています。

プロジェクトは主としてビューステット氏やホンカ・ジャパンのマルコ・サーレイネン氏が担当し、彼はこのプロジェクトに対してメーカーが予想していたよりもずっと多くの時間を費やしました。KOPのイルッカ・ラウッコネン氏は私たちに実務や資金面のノウハウを提供し、アールストローム・ジャパンのイルポ・カイスラニエミ氏は長い日本滞在で築いた幅広いネットワークや経験を提供しました。福田・中川・山川法律事務所の福田彊氏は同法律事務所の山川博光氏の支援のもとで、幅広い法律知識を駆使してプロジェクトの法的側面を担当し、日本でこの種の活動を行う際のさまざまな慣行を守れるようにしました。

建設作業は非常な熱意と協力精神の持ち主である井上一郎氏が社長を務める井上建設が担当しました。一二三氏は工夫の才とフィンランドで学んだログハウス建設の経験を生かして、現場監督を務めました。及川氏は監督として非常な才能を発揮し、建設許可の取得を担当しました。最後になりましたが、しばしば背後で大事な役割を果たしたのがリーッタ及川さんで、リーッタさんは敷地を

探し、外交手腕を発揮して、頑固で不器用なフィンランド人と小海町の人々の間との仲介役を務めました。リーッタさんはまたフィンランド・ヴィリッジで行う文化活動その他の催しについて多くのアイデアを提供してくれました。

小海町のすべての人々の協力や支持がなかったら、フィンランド・ヴィリッジは完成しなかったに違いありません。この点で、とくに土橋治郎町長と篠原淳氏の両氏が長い間プロジェクトの実現にご尽力されたことに深く感謝したいとおもいます。

1. 2. 目的

フィンランド・ヴィリッジ建設の目的は当初から、日本で暮らしているフィンランド人や日本で活躍するフィンランド企業の社員が手ごろな費用で利用できるハイクラスのレクリエーション施設を設けることにあり、この目的はいまも変わっていません。

株主の企業がこの施設を顧客の接待やセミナーの開催、研修、エキシビションなどの事業活動に活用することも期待されます。もちろん毎年の社員旅行にも使えます。

ヴィリッジのもう一つの目的はフィンランドのログハウス建築やインテリアのトップクラスの見本として役立たせることにあります。そのため厳選した製品を使い、その結果ほとんどの場合、ログキットを含む商品をたいへん好ましい条件で納入できるようになりました。ヴィリッジが関連業界やメディアの注目を引くことが期待されています。

小海町がコンサートホールを建設したことで、フィンランド・ヴィリッジはフィンランド関連のコンサートやエキシビションなどの文化活動の魅力ある場になります。ヴィリッジを通じて日本とフィンランドの文化協力をさらに拡大することができます。

1. 3. 株主

2001年8月現在フィンランド・ヴィリッジの株主は49で、うち27は企業です。内規で資本金は最低4300万円、最高1億7200万円とされ、企業株主は次の通りです。

株主名

フィンランド航空	5
アンドリッツ・アールストローム (株)	5
ノキア・ジャパン (株)	5
ホンカラケンネ (株)	4
井上建設	4
ヴァイサラ (株)	3
ノルディア	3
ダニスコカルター・ジャパン (株)	3
オートクンプ・ジャパン (株)	2
メッツォミネラルズジャパン (株)	2
宇部ケミラ (株)	2
メッツォ・オートメーション (株)	2
サーモバイオアナリシス・ジャパン (株)	2
中山産業 (株)	2
UPM キュンメネ・ジャパン (株)	2
アロックス (株)	2
エルコテックジャパン (株)	2
サンドビックタムロック・ジャパン (株)	1
(株) フィンコーポレーション	1
(株) ユーロ・デザイン	1
フィンランド大使館商務部	1
タイザーコーポレーション	1
OMG ジャパン (株)	1
王子トレーディング (株)	1
メッツォ・ペーパー (株)	1

1. 4. 理事会

2004年12月の株主総会で次の理事会理事が選出されました。

マルコ・サーレイネン、ホンカ・ジャパン

TEL: (0555) 20-2711 FAX: (0555) 20-2712

エーロ・タンミラ、フィンランド航空

TEL: (03) 20-3222 - 6992 FAX: (03) 3222 - 6808

マッティ・ランタ、ノキア・ジャパン株式会社

TEL: (03) 3597-0199 FAX: (03) 3597-0200

クラス・G・ビューステット（代表理事）、フィンランドハウス

TEL: (03) 5450-7209 FAX: (03) 5450-7208

西村 勲、西村アンドアソシエーツ

TEL: (03) 3577-3987

ヴィリッジ改善のためのご意見、ご質問、ご提案があれば、いつでも理事会の理事やプロジェクト・マネージャーにお知らせください。福田氏はもちろんのこと、サーレイネンが日本語に堪能のこともお知らせしておきたいと思います。

1. 5. 施設

本館（ホンギスト）

本館は居住面積約300平方メートルの2階建てのログハウスで、主として多人数のパーティーや企業の催しに使いますが、メインユニットとユニット2の2つに分けて、家族や小グループ用としても柔軟に使うこともできます。

メインユニットには設備が完備したキッチン、12人が座れる広いダイニングルーム、広いサウナやバスユニットが設けられています。ソープストーン製の大きな暖炉が、いっそう快適な雰囲気を盛り上げています。2階には会議室もあります。

メインユニットの1階には2ベットの寝室と1ベット付きのオフィス、2階には4ベットの広い寝室と8人用の畳部屋があります。メインユニットの収容人数は最大15人で、オフィスには電話/FAXもあります。

ユニット2もキッチンやバスルーム付きで、独立して使います。2ベットの寝室のほかに、リビングにベッドソファがあり、合わせて4人が宿泊できます。このユニットにも電話/FAXがあります。

本館には合わせて19人までが宿泊できます。

ログキャビン「ムスティッカ（ブルーベリー）」

ログキャビンの「ムスティッカ」は居住面積が60平方メートルで、サウナや設備の整ったキッチンがあり、キッチンには食器洗い乾燥機やフィンランド製の食器があります。寝室は2つあり、1つは2ベット、もう1つはダブルベット付きで、リビングルームにも2人分のベッドソファがあるので、6人までの家族の宿泊の最適です。テラスやダイニング、リビングルームからは長湖から八ヶ岳にいたるまでのすばらしい眺めを楽しむことができます。このログキャビンにも電話/FAXがあります。

コンサートホール

コンサートホールは小海町が主として文化行事用に出資し、建設したのですが、セミナーやエクシビション、レセプションなど、本館では行えないような大規模な催しを行う場合には、株主もこのホールを使うことができます。ホールは200席ですが、座席を柔軟に配置できるようになっています。

国際公園

国際パークも小海町の出資で建設されました。日本庭園とヨーロッパの公園を組み合わせたものになっていてカリヨン、棧橋、あずまやがあります。ヴィリッジの主な目的は小海町の人々に親しんでもらい、フィンランド人に来て頂くことにあります。

2. 予約システム

2. 1. 使用の権利

- 1) 1株当たり50点、6カ月ごとに25点の使用権が与えられます。点数は1期間（たとえば6カ月または1年）内でのみ有効で、他の期間に移すことはできません。
- 2) 使用点数は下記の表にしたがって計算します。
- 3) 休日（週末、日本の休日、クリスマス）には使用点数が1.5倍になります。
- 4) 急な使用、たとえば予約して1週間以内に使用するような場合は、点数が50%少なくても済みます。株主は点数を使い切っても施設を使うことができます。

使用点数表

使用する施設	平日	休日
ヴィリッジ全部	10	15.0
本館全部	7	10.5
メインユニット	5	7.5
ユニット2	2	3.0
ログキャビン「ムスティッカ」	3	4.5

使用例：

- 1株を所有する株主は毎年、次のように施設を使用することができます。
- 一例A：ムスティッカを17週日、または6休日と8週日
 - 一例B：ユニット2を25週日、または8休日と13週日
 - 一例C：メインユニットを4週日とムスティッカを7週日

または（たとえば企業の場合、1株当たり）

- 一例A：ヴィリッジ全部を毎年5週日
- 一例B：本館を5週日とムスティッカを3休日

点数の譲渡

- 1) 株主は使用点数を他に譲渡できますが、譲渡先は他の株主に限ります。
- 2) 株主が権利を譲渡した場合は、予約事務所にその旨通知して頂きます。
- 3) 譲渡に関する補償についてはすべて株主間の同意が必要です。

2. 2. 株主の定義

ここでは次のものを株主とみなします。

1. 法人（登録）株主
2. 個人株主の家族
3. 株主企業の従業員

2. 3. 予約

1. 予約は所定の書式で予約事務所宛にFAXします：FAX-(03)5742-7609(フィンランドハウス) FAXで予約する前に電話(03)5450-7208(フィンランドハウス)で施設の

利用状況を確認できます。

2. F A Xによる予約を受け取り次第、(株)フィンランド・ヴィリッジが3営業日以内に予約がなされたことを確認します。
3. 予約の確認とともに使用料金の請求書が送られ、使用日の1週間前までに料金を払い込みます。払い込みがないと予約が取り消されます。

2. 4. 予約のキャンセルと変更

1. 使用予定日の1カ月前までは無料で予約をキャンセルできます。
2. 使用の1カ月前から1週間前までの取消には5000円のキャンセル料が必要です。
3. 使用の1週間前以降に取り消す場合は使用料の50%の支払いが求められます。株主はこの場合、実際に施設を使用したのと同じ点数を失います。
4. 予約日を変更する場合、新しい予約日が前使用予定日の1週間以内で使用可能な場合は、無料で使用予定日を変更することができます。

2. 5. 株主以外の使用

1. 株主以外の人でも1週間前に使用を予約することができます。
2. 休日の使用予約は例外的な場合に限られます。
3. 株主以外の方が使用する場合は、すぐに料金を全額支払います。その後キャンセルされた場合は、料金は払い戻されません。

3. 使用料金とその支払い

3. 1. 使用料金 (2001年1月～)

<u>施設別基本料金</u> (単位:円)	<u>週末/休日</u>	<u>平日</u>	<u>株主以外</u>
本館メイン	32,000	22,000	50,000
本館ユニット2	6,000	4,000	10,000
ムスティッカ	12,000	8,000	20,000

上記の基本料金に人数分の料金が加算されます。

人数分料金

大人	2,500円/1名
子供(12歳まで)	1,500円/1名

※ 別紙の料金表参照。

使用料金は株主のゲストの場合も株主とみなして決定されます。しかしこの場合には、先に定義した株主がゲストと同時に施設を使用して、(株)フィンランド・ヴィリッジに対してすべての責任を負うことを求められます。

3. 2. 支払い

1. 支払いはすべて(株)フィンランド・ヴィリッジの銀行口座に振り込みます。
三井住友銀行 日比谷支店 (普通) 632-6800399
2. 使用料は使用予定日の1週間前迄に振り込みます。
3. 電話、F A Xなど、その他の料金は別個に請求されます。

注：あなたの会社が株主でヴィリッジ施設を使用する場合は、使用料金をあなたの名前で支払いますが、予約をする時は会社名とあなたの名前を言って下さい。

例： フィンランド航空／鈴木

そうしなければ、支払い確認の際に予約者名をチェックするのが大変困難になります。

4. 施設の使用

4. 1. チェックインとチェックアウト

チェックインとチェックアウトはこの業界の一般的ルールに従います。しかしチェックアウトとチェックインの間に清掃の時間が必要なことを考えて、チェックインとチェックアウトにできるだけ柔軟性をもたせました。そのルールは次の通りです。

1. チェックインは通常は14時以降、チェックアウトは10時までとします。
2. 予約した施設がもっと早く利用できる場合（つまり前日の予約がない場合）はもっと早くチェックインできますが、早くても9時以降とします。（追加料金あり）
3. 通常チェックアウト時間以降も施設が利用できる場合（つまり翌日の予約がない場合など）は12時まで施設を使うことができます（要連絡）。それ以降は追加料金が必要で、追加料金は16時までの場合は25%、21時までの場合は50%になります。

注：あなたの到着時間が午後9時以降の場合は必ずその事をレセプションの松原嶋屋商店（Yショップヤマザキ）に電話をして下さい。Tel: (0267) 93-2220

4. 2. レセプション

ヴィリッジのレセプションは松原嶋屋商店（地図参照）におかれます。レセプションはチェックインとチェックアウトだけを行い、その他の事務はすべて管理事務所で行います。

1. チェックインするときにサインして鍵を受け取ります。それ以外の登録の必要はありません。
2. チェックアウトするときに鍵をレセプションに戻します。

4. 3. 清掃・管理

清掃・管理は、（有）エム・アール・ジーが行っております。その主な仕事は次の通りです。

1. 一般のメンテナンス、燃料補給その他
2. 施設の清掃
3. シーツ、タオル類の取り替え
4. 緊急の補修

電球切れ、トイレの不調、備品の不備や破損など、施設の不備に気付かれた場合は、（有）エム・アール・ジー（Tel 92-0080）、またはレセプションにその旨を告げて下さい。

5. 使用に当たってのお願い

5. 1. 使用のルール

使用に当たってはヴィリッジがたいへん静かな環境のなかにあり、付近に人々が暮らしていることを考えて、小海町の人々がフィンランド・ヴィリッジに対して抱いている友好的なイメージを壊さないようにすることが先決です。もちろん特別の努力や遠慮の必要はありません。健全な判断と良識があればそれで十分です。しかし私たちは利用者の皆さま方が次のことを念頭に置かれることを望んでいます。

1. 喫煙は寝室や本館の畳部屋では許されません。
2. 施設に犬猫を入れることは許されますが、犬猫が家具や布類を損傷したり、他の人々が使っている施設に入ったりしないように注意します。
3. とくに22時以降は建物の外で大きな騒音を立てないようにします。
4. 他の人々と本館を共用する場合は、本館内でも上記の注意事項を守るようにします。
5. サウナのあとなどに裸で建物の外にでないようにします。
6. 湖での水泳は危険で、日本の慣習では許されていません。
7. 屋外で焚き火をしないようにします。
8. 省エネのため建物を離れるときには電灯やヒーターを消すようにします。

5. 2. 責任

使用を予約した株主は自分が招いたゲストに対しても責任を負い、ゲストが資産に損害を与えたり備品を紛失したような場合には、補償を求められることがあります。

5. 3. 整頓と清掃

施設を利用する株主は施設を適切に使用し、清潔に保つ責任を負います。そうすることで続いて利用する人々が快適に滞在できるようになるだけでなく、メンテナンス・コストを適切な水準に抑えられるようになります。管理事務所は（滞在が3日を超える場合を除いて）次の利用者が到着した場合にだけ清掃し、シーツやタオルを取り替えますので、滞在中は施設を適切に使用し、あなた自身の手で清潔に保って、快適に過ごして頂かねばなりません。そのためすべての施設に電気掃除機を用意しました。全ユニットに食器洗い・乾燥機も設けてあります。

最後に、利用者の皆さまが次のことを念頭に置かれることを望みます。

1. 建物の中ではスリッパ（またはソックス）だけを使うこと。
2. 屋外でパーティを開く場合には散らかさないこと。ゴミはすべて集めて、用意してある容器のなかに捨てること。
3. 腐りやすい食品（肉や野菜など）をキッチンに放置しないこと。キッチンのゴミは備え付けの分別ゴミ容器の中に入れるようにする。
4. 建物のなかにスキーやスノーボードを持ち込まないこと。

6. 施設についての情報

6. 1. パーキング

ヴィリッジの利用者は2つのパーキング場を使うことができます（地図参照）。なるべくメインパーキング場（約30台）を使い、それらがいっぱいの場合にだけコンサートホールのパーキング場（10台）を使います。駐車している車の出入りを妨げないようにしてください。日本は治安の良い国ですが、駐車場には警備員がいないので、車内に貴重品を残さないようにしてください。駐車は無料です。

注：もし運び入れる荷物が多き時は車をログハウスの前まで乗り入れる事ができますが、芝生などに気を付けて下さい。荷物を運び終えたら、すぐに車を駐車場において下さい。

6. 2. 鍵と警備

各ユニットに鍵がついています。鍵をなくさないようにお願いします。鍵をなくされた場合はレセプションに連絡します。建物を離れる場合は、短い時間であっても必ず鍵をかけるようにします。テラスの戸にも鍵をかけ、窓もすべて閉めます。

6. 3. 電話とファクシミリ

各ユニットにファクシミリ付き電話機を設けました。番号は次の通りです。

メインユニット (0267) 93-2332

ユニット2 (0267) 93-2331

ムスティッカ (0267) 93-2333

国内の通話料金は電話の傍に料金表がありますのでそれに従って通話料金を料金箱にお支払い下さい。国際電話の場合は後日、国際電話通話料金請求書が届き次第、請求いたします。メインユニットの電話機は事務室にあります。

6. 4. キッチン

キッチンには鍋類やパン、ナイフやフォーク、食器類を用意して、調理ができるようにしてあります。安全性と実用性を考えてレンジやオーブンは電熱式にしました。仕出しを希望される方のために、仕出し屋のリストも付記しました(第11節)。

6. 5. サウナ

メインユニットとムスティッカにサウナがあります。サウナの外にスイッチがついています。本館のメインサウナを使う場合は操作盤のスイッチを2つとも入れて40～50分待ちます。サウナが済んだらスイッチを切るのを忘れないでください。詳細についてはサウナのところにある掲示をご覧ください。

ユニット2にはサウナがありませんが、各ユニットの利用者が同意すれば、ユニット2の利用者も18時～19時にメインユニットのサウナを使うことができます。

6. 6. 暖房

ヴィリッジには2種のヒーターを設けてあります。できるだけ手軽に仕え、しかもエネルギーの使用効率を高められるようにしました。ヒーターには次のようなものがあります。

暖炉

メインユニットはソープストーン製の暖炉で暖房します。薪をくべるのは3～4回で充分です。それ以上暖炉を暖めると暖炉をダメにしますので注意して下さい。一度暖めると、約24時間も持ちます。点火する前に煙道のシャッターが開いているかどうかをチェックしてください。シャッターは一つは暖炉の上にあります、一つは2階の会議室にあります。シャッターは火が完全に消えるまで閉めないでください。暖炉のフロントドアはいつも閉めておくようにします。薪はユニット2の外のテラスにあります。薪を乾燥させる為に常時、暖炉の側に2～3巻を取り入れておいて下さい。

電気ヒーター

各ベツトルームに電気ヒーター、リビングルームに石油ストーブが置いてあります。ヒーターの全部を同時使用した場合に電気供給システムによってブレーカーが下りる事があります。その場合は本館のサウナドレッシングルームにあります電気ボードのブレーカーを(入)にして下さい。

7. コンサートホール

コンサートホールは小海町がフィンランド・ヴィリッジの敷地内に建設したもので、小海町とフィンランド・ヴィリッジが共同で管理しています。ホールは主として一般の催しやフェスティバル用ですが、それらの催しはそんなに多くないので、フィンランド・ヴィリッジの株主が使うことができるチャンスは多いということです。しかし管理上の理由で、このホールの使用はヴィリッジの使用と関連がある場合に限られます。ホールの使用の際は、小額の

使用料金の支払いが必要です。料金については直接、下記の小海町へお問い合わせ下さい。

座席数は約200で椅子を自由に配置でき、広いオープンスペースが必要な場合は椅子を片づけることができます。ステージがあり、オーディオビジュアル機器がついています。

使用料金の支払は管理をしている小海町が請求します。ホールが使用できるかどうかやその予約に関しては小海町にお問い合わせ下さい。Tel: (0267) 92-4391 井出氏まで

8. 小海町でのレクリエーション

ヴィリッジにはまだ多くのレクリエーション施設がありませんが、ヴィリッジの周辺や小海町でさまざまなレクリエーションを楽しむことができます。つぎにヴィリッジの利用者に興味があると思われるレクリエーション活動についていくつかご紹介します。

8. 1. テニス

松原湖畔やRE-EXリゾートに多くのテニスコートがあります。最も近いコート2つはヴィリッジから300メートルほどのところにあります。

予約と問い合わせ先：

大門館 Tel: (0267) 93-2516

場所: 松原湖交差点のコンビニ裏 松原湖周辺地図で確認して下さい。

料金: 半日 約3000~4000円/コート

リエックスリゾート

リエックスリゾートには屋外コートが17、屋内が4コートあります。

Tel: (0267) 93-2211

場所: 車で10分 松原湖周辺地図で確認して下さい。

8. 2. ゴルフ

ヴィリッジから車で15分以内のところにゴルフコースが3つあります。ゴルフシーズンは4月末に始まり、気象条件によって違いますが、11月まで続きます。他にもRE-EXリゾートシティにいたる道路沿いにパターゴルフコースがあります。各ゴルフコースの場所など、詳細については地図をご覧ください。

RE-EXカントリークラブ

この地域で最高の18ホールの優れたコースで、フィンランド・ヴィリッジの利用者であることを告げてクラブで予約します(電話: (0267) 93-2236)。週日の予約は問題ありませんが、ハイシーズンには週末の予約ができないこともあります。料金はカート料金を含めて8,600円~16,000円で、料金はシーズンや週日によって異なります。

八ヶ岳高原カントリークラブ

18ホールのコースで標高1500メートルにあり、日本で最も高い場所にあるコースの一つです。あたりにはシラカバが多く、まるでフィンランドにいるような感じです。コースは興味深く、よく手入れされています。週日のプレーは簡単に予約できますが、週末やハイシーズン(7月中旬~8月下旬)には予約できないこともあります。

料金はキャディー料を含めて16,000円~23,000円で、料金はシーズンや週日によって異なります。(電話: (0267) 93-2011)

小海高原ゴルフコース

9ホールのコースで安い費用でゴルフが楽しめます。料金は6,000円~10,000円

(18ホール)。(電話：(0267)92-1990)

8. 3. スキー

最も近いスキー場はヴィリッジから車で約10分、RE-EXリゾートにあります。スキーシーズンは12月の第2週からで、雪の状態によって4月初旬まで続きます。5つのスキーリフトと6つのコースがあり、すべてのレベルのスキーヤーがさまざまなスキーを楽しむことができます。一部のスロープではスノーボードもできます。1日リフト券は3500円～4000円位。

リエックススキー場 電話：(0267)93-2134

8. 4. ハイキング

ハヶ岳山系はハイキング、登山地として知られ、森林ハイキングから標高約3000メートルの赤岳登頂にいたるまでのハイカー用の標識付の登山コースがあります。最も近いコースはヴィリッジから車でわずか10～15分の地点からスタートします。最高のハイキングシーズンは6月から9月までです。本館でハイキングガイドを入手できます。

8. 5. 魚釣り

夏や冬にヴィリッジの前の長湖や付近の松原湖で魚釣りができ、自分でとった魚を食べることができます。一日魚釣り券は松原湖周辺の店で売っています。

9. 売店、レストラン、宿泊施設

9. 1. 売店

フィンランド・ヴィリッジに最も近い商店はYショップヤマザキです。あまり大きなお店ではありませんが、品物の揃ったコンビニエンス・ストアで、アルコール飲料もあります。この店はフィンランドヴィリッジのレセプションでもあり、営業時間は毎日10時から20時まで。たくさんの買物をするのであれば、国道141沿いの大型スーパー（小海駅への途中にある）か、小海町のセンターまで行く方が良いと思います。

9. 2. レストラン

松原湖には7つの旅館があつて食事ができます（地図参照）。ヴィリッジに近い宮本屋旅館で夕食を取る事はできますが、前日までに必ずその予約をして下さい。ほかにもRE-EXリゾートホテルには高級なレストランがあります。

宮本屋旅館 Tel: (0267)93-2432

リエックスリゾートホテル Tel: (0267)93-2211

9. 3. 宿泊

上記の施設のほかにも松原湖だけで合わせて31の民宿施設があります。ヴィリッジだけでは足りないような場合に、それらの民宿を利用することができます。宮本屋旅館や山角屋を利用することをお勧めします。

Tel: 宮本屋旅館 (0267)93-2432

山角屋民宿 (0267)93-2659

リエックスリゾートホテル (0267)93-2211

10. 連絡先

10. 1. 予約事務所

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-33-20
世田谷弦巻ハイム 203号
フィンランドハウス TEL: (03) 5450-7209
FAX: (03) 5450-7208

10. 2. レセプション

住所: 〒384-1103 長野県南佐久郡小海町松原湖
松原嶋屋商店 (Yショップヤマザキ) TEL: (0267) 93-2220
FAX: (0267) 93-2975

10. 3. 管理運営事務所

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-33-20
世田谷弦巻ハイム 203号
フィンランドハウス TEL: (03) 5450-7209
FAX: (03) 5450-7208

10. 4. 仕出しサービス

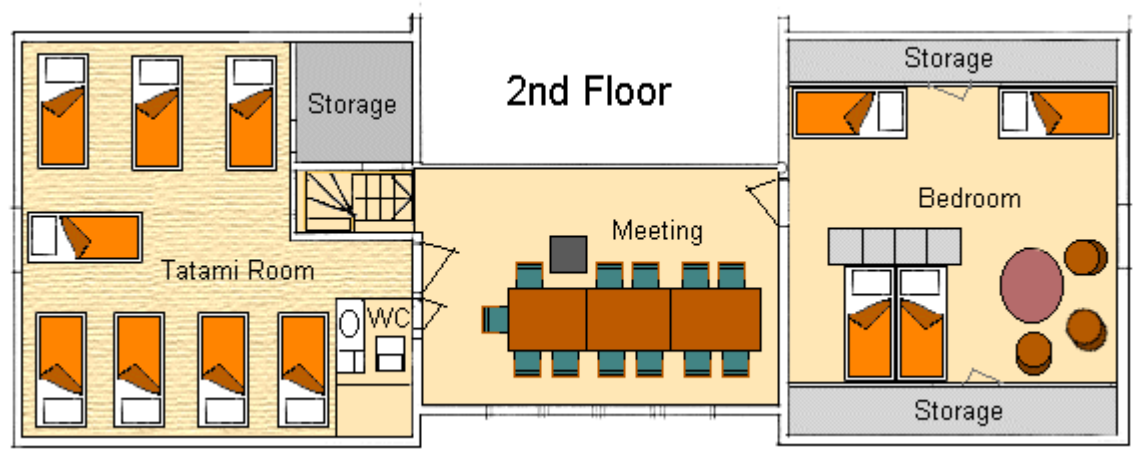
商店	電話番号
松原湖高原ホテル	(0267) 93-2723
宮本屋旅館	(0267) 93-2432

10. 5. 緊急時の連絡先

警察一電話: 110	最も近い駐在所	(92-2057)
救急一電話: 119	最も近い病院	(92-2077)
消防一電話: 119	最も近い消防署	(92-2872)

11. 地図

11. 1 長野県地図



ログキャビン “ムステイッカ”

